



みなとしみず

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146(代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

新年明けましておめでとうございます



日頃より、皆様におかれましては当事務所の業務遂行にあたりましてご理解・ご協力・ご指導を賜りまして誠にありがとうございます。

清水港湾事務所では、清水港の他に県内の下田港、田子の浦港、御前崎港において直轄事業を行っているほか、県内の各港において港を通じた地域の発展と安全の確保に今年も取り組んで参りますので、引き続きよろしく願いいたします。

本年の当事務所の事業の中心となるのは、新規着工の新興津地区第二コンテナバースです。清水港は明治32年(1899年)に外国貿易を行うことが出来る「開港」に指定されました。それから、110年を経過し清水港は我が国を代表する港湾として発展して参りました。港で取り扱われる貨物の種類や形態は時代によって変化していますが、現代の国際物流を象徴するコンテナバースの拡張が現在行われているのも、清水港が時代の要請に著実に応えてきている結果だと考えております。その意味で先人の苦勞に思いをはせ、今後も、長期的な視点を持ち、今やらなくてはいけないことを着実に進めて参りたいと思います。

最後に、本年が皆様にとってさらなる発展の年となりますことを祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



日本平から

Photo : A. Fujii

みなとへの想い 静岡市長 小嶋 善吉

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃は市政運営に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



昨年、清水港におきましては、「第61回清水みなと祭り」「清水港マグロまつり2008」「帆船『日本丸』寄港」等の港に関連する多数のイベントを開催し、市民のみならずもとより市外からも多くの方々のご参加をいただき、港周辺が大変賑わいました。

普段、港を訪れる機会の少ない方にも、港まちの魅力を再認識していただけたものと思います。



10月12日 清水港マグロまつり2008
多くの人で賑わうまつり会場



本年は、海外ポートセールスの効果として、4月15日の「クリスタルセレンティ」をはじめとする客船の入港が予定されております。また、清水港開港110周年の節目でもあり、本年も多くのみなさまに清水港に来ていただきたいと考えております。

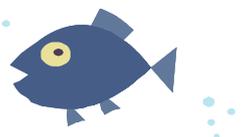


10月17日～10月21日 帆船「日本丸」寄港
セイルドリルの様子



清水港日の出ふ頭に寄港した「クリスタルセレンティ」
(H16.2.12 撮影)

本市は、港湾所在市として、清水港の20～30年後のあるべき姿を展望した「清水港ビジョン」を策定いたしました。清水港はこれまでも、経済・物流の拠点として、本市経済を牽引してきましたが、今後ますますその重要性が高まるものと確信しております。これからも、清水港が本市経済の原動力として、さらには市民に親しまれる港としても賑わいますよう、港まちづくりに尽力して参りたいと考えております。



本ページの写真提供：静岡市

現場から 田子の浦港中央地区2号岸壁工事の状況

田子の浦港は、港湾取扱貨物量が静岡県第2位の港湾です。中央地区には、田子の浦港内の取扱貨物量の37%を扱う中心的な岸壁がありますが、水深が不足している、耐震性が不足している、および老朽化が進んでいるなどの課題を抱えていることから、清水港湾事務所では岸壁の改良事業を行っています。

今年度は、岸壁延長240mのうち、約3分の1の区間について改良工事を実施しており、今年7月には岸壁の主構造となるジャケット*を2基据え付けました。現在、ジャケットの上部に鉄筋コンクリート製床版ブロックの据え付け作業をしており、約75m分の岸壁の形が出来上がりつつあります。来年度内には、約3分の2の延長が出来上がる予定です。今後も、工事の安全に努めながら、施設の早期完成をめざしていきます。



床版ブロック据え付け作業の様子

*鋼管製の岸壁の基礎構造物

清水港小口積替デポ起工式が行われました。

12月18日(木)に、清水港富士見ふ頭において、「小口貨物積替円滑化支援施設(小口積替デポ)」として整備される富士見上屋の起工式が行われました。

この施設は、小口貨物を効率よく集荷し、ロットを確保することで輸送コストの削減を可能とすること目的として、第三セクターである、清水埠頭株式会社が、国からの補助を受け、整備・運営していくものです。

この施設は、老朽化した県営の5号・6号上屋を取り壊した跡地に建設される予定で、中間柱のない延床面積約7,200㎡の大空間設計で、保管効率も高く、また耐震性にも優れていることから、地震等の災害時には、港湾労働者の安全確保やその後の復興支援等に活用されます。

来年8月末に完成し、パルプや合板などを中心に取扱うこととなります。



望月義夫衆議院議員による挨拶



完成予想図: 清水埠頭株提供

一般公開 県内初! 御前崎港GPS波浪計

12/1号(第86号)で紹介したGPS波浪計が、御前崎港沖に設置されます。この波浪計は、広島県尾道市で製作し、1月中旬に御前崎港まで船で運ばれ、設置に向けての装備をした後、御前崎港の沖合22km地点に設置されます。

そこで、清水港湾事務所では、御前崎港沖に設置する前に、一般公開を行います。GPS波浪計を目の当たりする最初で最後の機会なので、興味のある方は、ぜひお越しください。

日時:平成21年1月27日(火)12:00~15:00

※天候により、翌28日の同じ時間に順延する場合があります。

場所:御前崎港 西ふ頭

問い合わせ:清水港湾事務所 沿岸防災対策室 吉田

電話 054-352-4149



御前崎港沖に設置されるGPS波浪計

★詳細はホームページをご覧ください★ <http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

海とみなとの相談窓口



PHS 全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間:9時~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)

☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■本紙に関するお問い合わせ先■
清水港湾事務所 企画調整課
太田・屋敷

Tel 054-352-4148

e-mail

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp



今年も
よろしく
お願いします